

💡 万博をもっと楽しむためのチケットガイド

～チケット購入から、当日入場までの5ステップ～

①万博IDの登録
②チケットの購入
③来場日時予約
パビリオンなど観覧予約
予約日時に会場へ!

・当日は、入場ゲートや各パビリオンイベントなどで、QRコードをかざして入場します。使用するQRコードを確認してから来場しましょう。

・スマートフォンでQRコードを提示するほか、電池切れや通信不良のトラブルなどに備えて、QRコードを印刷したり、スクリーンショットで保存して持参することもできます。

・来場日時にあわせて、パビリオンやイベントなどの観覧予約ができます。

・家族、友人などグループは、まとめて抽選・予約、当日登録が可能です。

・パビリオン事前予約・当日登録を導入しない、並んで入場できるパビリオンもあります。

・入場チケットを購入後は、ご来場前に必ず来場日時予約が必要です。

・来場日時予約は、来場希望日時の6か月前より、先着順で受け付けます。

・入場ゲートは来場手段によって「東ゲート」と「西ゲート」に分かれます。来場日時の予約時に、当日利用するゲートを選択してください。

・公式Webサイトからチケットを購入しましょう! 電子チケットのため失くす心配もなく、入場もラクラク!

・コンビニエンスストアや旅行代理店では、紙のチケットやチケット引換券を販売しています。

・「万博ID」は、大阪・関西万博で提供されている様々なサービスにログインする際に利用する共通的なIDです。

・登録には「メールアドレス」等が必要になります。

入場チケットの種類・価格

| | 大人(満18歳以上) | 中人(満12歳以上17歳以下) | 小人(満4歳以上11歳以下) | 備考 | 購入期間 |
|----------------------------------|------------|-----------------|----------------|------------------------------------|--------------|
| 開幕券 | 4,000円 | 2,200円 | 1,000円 | 開幕日から2025年4月26日まで1回入場可能なチケット | 2025年4月12日まで |
| 前期券 | 5,000円 | 3,000円 | 1,200円 | 開幕日から2025年7月18日まで1回入場可能なチケット | 2025年4月12日まで |
| 早割1日券 | 6,700円 | 3,700円 | 1,700円 | 期間限定販売で、会期中いつでも1回入場可能なチケット | 2025年4月12日まで |
| 1日券 | 7,500円 | 4,200円 | 1,800円 | 会期中に購入できて、いつでも1回入場可能なチケット | |
| 平日券 | 6,000円 | 3,500円 | 1,500円 | 会期中に購入できて、「平日」の午前11時以降に1回入場可能なチケット | |
| 夜間券 | 3,700円 | 2,000円 | 1,000円 | 会期中に購入できて、「17時以降」に1回入場可能なチケット | |
| 3歳以下無料券 (2025年4月1日時点にて3歳以下の方が対象) | | | | 3歳以下のお客様を対象とした、いつでも1回入場可能な無料チケット | |

※その他、複数回入場パスや団体用のチケットもありますので、詳細はHP等でご確認ください。
 ※販売状況により購入可能期間が変更となる可能性があります。

海外パビリオンをご紹介します!

アメリカ合衆国



Images credited to Trahan Architects

テーマは「共に創出できることを想像しよう」。わび・さびから着想を得た三角形の木造建造物2棟の上にライトアップされたキューブが浮かぶように置かれ、LEDスクリーンが米国を象徴する画像や名所を映し出す。

スイス



Presence Switzerland

テーマは、「生命(ライフ)」、「地球(プラネット)」、「人間拡張(オーグメンテッド・ヒューマン)」の3つ。エコロジカルフットプリント(人間活動が環境に与える負荷)が最も小さいパビリオンを目指している。

オーストラリア



©Design by Buchan Holdings Pty Ltd, Render by FloorSlicer

ユーカリの花から着想を得たデザインで、国の活気と多様性を象徴している。「Chasing the Sun ー太陽の大地へ」をテーマに、最新技術、豊かな文化、ダイナミックな社会を体感できる様々なプログラムを開催する。

ポーランド



パビリオン設計: アリシャ・クビツカ、ボルハ・マルティネス (Interplay Architects)

「未来を切り拓く遺産」がテーマ。木材が基調の外観は、ポーランドの創造性と革新性の波が広がることを表現している。館内では、定期的にポーランド出身の作曲家・ショパンのピアノ曲が楽しめる。

オランダ



©Plomp

共に分かち合い、新しい価値を生み出す「コモングラウンド」がテーマ。館内中心の球体は、持続的に利用可能なグリーンエネルギーと日の出を表現している。グリーンエネルギーを水から生成する新技術を紹介予定。

ドイツ



©MIR_LAVA_facts and fiction

「循環経済」をテーマに、建築・景観・展示を一体化し、ほかではできない体験を提供する。「わ! ドイツ」というタイトルを付け、循環の「環(わ)」、調和の「和(わ)」、感嘆の「わ!」の3つの意味を込めている。

ページ内で紹介しきれなかったパビリオンも多数ありますので、ぜひ大阪・関西万博のHPをご確認ください。